

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

VP-16+CBDCA+Durvalumab 療法

3 週毎 4 コース予定

疾患名 小細胞肺癌

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	day2	day3
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓		
エトポシド	100 mg/ m ²	↓	↓	↓
カルボプラチン	AUC 5 or 6	↓		

- 【注意】* 他剤使用時はデュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。
 * デュルバルマブ投与時は 0.2 又は 0.22 μm のインラインフィルターを通して投与すること。
 * 体重 30 kg 以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は、20 mg/kg とすること。
 * エトポシド投与時は DEHP フリー点滴セットを使用する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1C を内服

- ① 生食 500 mL 維持(20 mL/時間)
- ② イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注 60 分(100 mL/時間)
- ◎メインの生食でフラッシュ
- ③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 4.95 mg (1.5 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 90 分(360 mL/時間)
- ⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液 250 mL 点滴静注 60 分(250 mL/時間)

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

VP-16+ CBDCA+Durvalumab 療法

day 2, 3 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (80 mg) 1C を内服

- ① 生食 500 mL 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 3.3 mg (1 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ③ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 90 分(360 mL/時間)

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
イミフィンジ 開始時刻	↓			↓		
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
イミフィンジ 開始時刻	↓			↓		
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						